

定例記者会見

令和 7 年 2 月 25 日



市 政運営にあたっての考え方

社会経済情勢の変化



人口減少と少子化の進行

原油価格・物価高騰



気候変動に伴う災害の頻発化・激甚化

デジタル社会の急速な進展など



最重要課題への対応

人口減少問題への強い危機感

結婚・出産・子育て支援による自然増

若者の定着・流入の促進による社会増

未来の子どもたちによりよい地域を引継ぐ



3つの基本理念 と 基本方針

真の公平さの追求

地域力を最大限に生かす

国・県等との連携を広げる



オール市民での まちづくり

安全に安心して暮らせるふるさとづくり
将来を見据えた持続可能なまちづくり

「喜多方市総合計画」を政策の軸に据え、複雑・多様化する市民ニーズを見極め、地域の課題に丁寧に対応し、将来へ憂いを残さない行政運営に努めます。

A vibrant sunflower field under a blue sky with green hills in the background. A large sunflower is in the foreground on the right, and a large green leaf is on the left.

提案予定の議案

予算議案

議案第 2 号 令和7年度喜多方市一般会計予算 など 当初予算案 12件

議案第14号 令和6年度喜多方市一般会計補正予算(第11号) など 補正予算案 11件

条例議案

議案第25号 喜多方市まち・ひと・しごと創生基金条例を廃止する条例 など 16件

単行議案

議案第41号 権利の放棄について

令和7年度当初予算

	【予 算 額】	【前年度当初予算対比】
一 般 会 計	266億2,700万円	+8,100万円 (+0.3%)
国民健康保険事業特別会計	48億2,412万6千円	▲1億8,666万円 (▲3.7%)
後期高齢者医療事業特別会計	6億6,360万5千円	+2,068万1千円 (+3.2%)
介護保険事業特別会計	56億6,409万9千円	▲2,039万6千円 (▲0.4%)
公有林整備事業特別会計	1,181万7千円	▲460万8千円 (▲28.1%)
工業団地造成事業特別会計	1億5,134万3千円	+2,934万8千円 (24.1%)
塩川駅西土地区画整理事業特別会計	4千円	▲1千円 (▲20.0%)
財産区特別会計(駒形・一ノ木・早稲谷)	(3財産区会計合計) 6,429万8千円	+289万1千円 (4.7%)
下水道事業会計 (下水道事業費用・資本的支出)	22億3,510万8千円	▲4,278万5千円 (▲1.9%)
水道事業会計 (水道事業費用・資本的支出)	20億0,600万3千円	+1,115万円 (+0.6%)



夢と希望が持てるふるさと喜多方

将来へ憂いを残さない 喜多方

令和7年度
一般会計予算額

266億2,700万円

対前年度比 **8,100万円増 (+0.3%)**



地域の特性を生かした
力強い**産業**づくり

地域を支え
未来を拓く**人**づくり



力強い産業 人が輝く
活力満ちる安全・快適なまち

－喜多方市総合計画 将来の都市像と4つの大綱－



安全・安心、思いやりのある、
人にやさしい
まち・くらしづくり

自然との共生と
元気なふるさとづくり



1

地域の特性を生かした
力強い**産業**づくり

基幹産業である農業の振興、林業の再生

企業誘致やものづくり産業の発展

地域資源を活用した魅力ある観光の推進
まちなかのにぎわい創出

人口定住に結びつく持続可能な経済活動の実現に向けて、新しい産業や雇用の確保、所得の向上を図ってまいります。

新

事業継承支援事業

新

そばの郷喜多方振興事業

新

100年フード・食文化ミュージアムPR事業

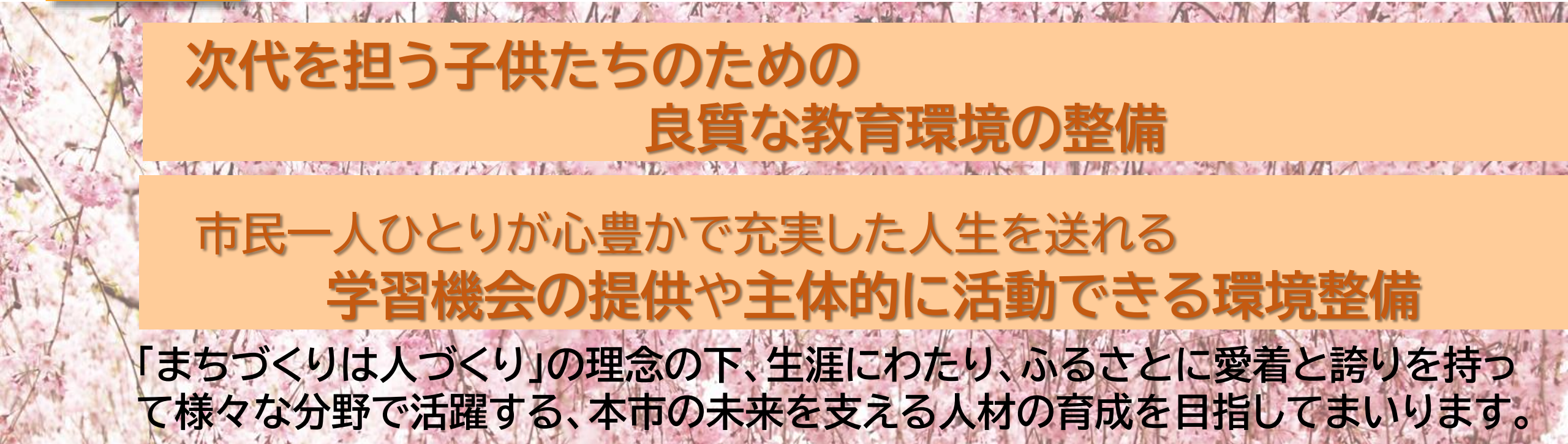
新

ふくしまデスティネーションキャンペーン推進事業

2

地域を支え未来を拓く

人づくり



次代を担う子供たちのための 良質な教育環境の整備

市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送れる
学習機会の提供や主体的に活動できる環境整備

「まちづくりは人づくり」の理念の下、生涯にわたり、ふるさとに愛着と誇りを持って様々な分野で活躍する、本市の未来を支える人材の育成を目指してまいります。

新

小・中学校キャリア教育推進事業(起業家体験事業)

3

安全・安心、思いやりのある、
人にやさしい
まち・くらしづくり

保健、医療、介護、福祉の充実と連携

災害等への備えの強化

生活や産業などを支える社会基盤の維持・充実

日々の暮らしにおける安全を確保し、若い世代が安心して子供を産み育てることが出来る環境や、高齢者が元気に生きがいを持って暮らせる環境づくりなど、誰もが快適に生活しやすいまちづくりを進めてまいります。

新

妊婦のための支援給付金交付事業

新

妊婦等包括相談支援事業

4

自然との共生と 元気なふるさとづくり

市民が主体的に行うまちづくりや市民活動の支援

地域間の連携・交流や、大学、企業等との協力・提携

生活環境や自然環境、
地球環境へ配慮した取組

魅力的で持続可能なまちづくり、自然との共生を図りながら、
市民と行政との協働による活力あふれるまちづくりを進めてまいります。

新

雷神山花の森魅力アップ事業(高郷)



画の実現に向けて

◇活力ある市役所づくり

- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 職員の挑戦意識・意欲の醸成
- 国の省庁や県への職員派遣(政策形成・課題解決能力の向上等)

◇効率的な組織体制の確立

- 情報の透明化・共有化
- 部局間、本庁・支所間の緊密な連携

◇市民の利便性向上と業務効率化

- 行政手続きのオンライン化
- AI等デジタル技術の活用促進

持続可能な
行財政運営

市民サービスの
一層の充実



おん こ そう しん

温故創新

の精神の下、

先人の努力から学び、知恵を出し合い、
歴史や文化、豊富な地域資源を生かした柔軟な取り組みに挑戦しながら、

子どもからお年寄りまで全ての市民が

「生まれてよかった、住んでよかった」 と思えるような、

「ふるさと喜多方」

の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

令和6年度補正予算

	【今回補正額】	【補正後の額】
一般会計	▲4億8,680万円	291億7,143万3千円
国民健康保険事業特別会計	▲4,115万9千円	50億8,313万1千円
後期高齢者医療事業特別会計	▲1,598万1千円	6億4,510万4千円
介護保険事業特別会計	▲5,348万2千円	59億4,889万4千円
公有林整備事業特別会計	▲45万4千円	475万3千円
工業団地造成事業特別会計	▲9万6千円	1億5,224万6千円
財産区特別会計(駒形・一ノ木・早稲谷)	(3財産区会計合計) ▲5千円	6,613万2千円
下水道事業会計 (下水道事業費用・資本的支出)	▲1,422万9千円	22億 524万円
水道事業会計 (水道事業費用・資本的支出)	5,382万8千円	20億2,624万1千円

一般会計の主な補正等

① 県営土地改良事業負担金

土地改良経費 246万6千円(農山村振興課)

頭首工の更新等を追加実施することから、負担金を増額する。

- ・ 県営土地改良事業（基幹水利施設ストックマネジメント事業 会津北部地区）において、国の1次補正により頭首工の更新等を追加実施することから、負担金について増額補正する必要が生じたもの。
- ・ 実施個所 一ノ堰頭首工及び松野本頭首工

② 小学校空調設備改修工事・LED照明改修工事

小学校管理経費 1億 500万円(教育総務課)

暖房設備の老朽化及び脱炭素化を促進するため改修工事を実施する。

- ・ 加納小学校校舎（新熱塩加納小学校）に高効率の冷暖房設備への改修及び校舎及び体育館の電灯設備をLED照明とする改修工事を実施する。

③ 中学校空調設備改修工事・体育館LED照明改修工事

中学校管理経費 1億6,000万円(教育総務課)

暖房設備の老朽化及び脱炭素化を促進するため改修工事を実施する。

- ・ 第二中学校校舎に高効率の冷暖房設備への改修及び体育館の電灯設備をLED照明とする改修工事を実施する。

Ⅱ 条例議案

- ・喜多方市まち・ひと・しごと創生基金条例を廃止する条例
- ・喜多方市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ・喜多方市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ・市長等の給与及びその他の給付に関する条例の一部を改正する条例
- ・喜多方市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・喜多方市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
- ・喜多方市税特別措置条例の一部を改正する条例
- ・喜多方市特定疾患患者見舞金支給条例の一部を改正する条例
- ・喜多方市児童館条例の一部を改正する条例
- ・喜多方市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Ⅱ 条例議案 続き

- ・喜多方市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・喜多方市総合福祉センター条例等の一部を改正する条例
- ・喜多方市敬老祝金条例を廃止する条例
- ・喜多方市高齢者等に対する肉用雌牛貸付条例を廃止する条例
- ・喜多方市地域資源活用総合交流促進施設沼ノ平会館条例を廃止する条例
- ・喜多方市水道事業給水条例の一部を改正する条例

Ⅲ 単行議案

- ・権利の放棄について

財政の健全化に向けた取組

コロナ禍や豪雨災害等を乗り越えた今、
令和8年1月に新市20年の新しい時代を迎えるにあたり、
持続可能な財政運営のため、**財政健全化**を図ります。

集中取組期間 3カ年度 令和7～9年度

財政健全化の5つの視点

- 歳入の確保
- 総人件費の抑制
- 公共施設の在り方の見直し
- 事業全般の見直し
- 各種補助金等の見直し

に基づく 財政健全化プラン(仮称) の策定・実施

この難局を市民の皆様と共に乗り越えたいと思います。

喜多方市財政の健全化に向けた取組について

～ コロナ禍、豪雨災害を乗り越え、活力満ちるまちづくりに向けて ～

本市は、少子高齢化・人口減少により市税の大幅な増加が見込めず、普通交付税が減少する中、喜多方市総合計画等に基づく各種施策を着実に推進し、国の少子化対策・こども政策やDX、カーボンニュートラルの推進の取組など、多様化・複雑化する行政課題に対応するとともに、学校給食費負担軽減などの子育て支援、産業の振興等を図りながら、若者が定住し、安心して生み育て、働くことができる喜多方の実現のための様々な施策を進めてまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症、エネルギー価格・物価高騰、令和4年8月に発生した過去に例を見ない豪雨災害に対する迅速な対応、さらに令和6年度においては、近年まれにみる今冬の豪雪災害、人件費・物件費の高騰による職員人件費、扶助費などの経常的支出の大幅な増加への対応等により、平成29年度に約32億円あった財政調整基金残高は大幅に減少する見込みであり、新たな行政需要や不測の事態への機動的な対応に苦慮する厳しい財政状況にあります。

また、財政運営におきましては、「真に必要な行政サービスに要する経費の計上」を基本とし、全事務事業の継続的な見直しや終期設定などの補助金の適正化等を前提とした予算編成を行うとともに、公共施設の統廃合等を進めてまいりましたが、結果として十分な見直しに至らなかったことも、経常的支出が増加している要因の一つと考えております。

このため、コロナ禍や豪雨災害等を乗り越えた今、持続可能な財政運営のため、令和7～9年度において、次の視点により、さらなる歳入確保と歳出削減に総力を挙げて集中的に取り組み、財政健全化を図ってまいります。

- 歳入の確保
- 事業全般の見直し
- 総人件費の抑制
- 各種補助金等の見直し
- 公共施設の在り方の見直し

令和7年度当初予算編成においては事業全般及び各種補助金等を見直し、また、令和7年度早期には、健全化の方針、目標、期間、取組項目等を示す「財政健全化プラン(仮称)」を策定し、行政改革の観点も踏まえ、内部管理経費のより徹底した削減はもとより、全ての事務事業の更なる精査・見直し等を進めてまいります。

なお、市民の皆様が等しく受益する行政サービスは確保しつつ、経費削減や受益者負担の適正化等に取り組むことで、この難局を市民の皆様と共に乗り越えてまいりたいと考えております。

令和8年1月には新喜多方市となって20年の新しい時代を迎えます。その節目にあたり、今後計画しているひとづくり・交流拠点複合施設整備事業や小中学校の適正規模適正配置の取組、広域圏組合におけるごみ処理施設整備等事業にも対応しつつ、将来世代に憂いを残さず、市民の皆様への安全・安心な生活を支え、本市の成長を推進するため、全職員一丸となり、危機感を持って、安定的かつ持続可能な財政運営に向けた財政構造の構築を図ってまいります。

市民の皆様におかれましては、厳しい財政状況を乗り越え、活力満ちる喜多方市の未来のために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和7年2月25日

喜多方市長 遠藤 悠一